

めざす姿

I 自分らしく生きられる社会

①

自由になる働き方

いろいろな働き方を  
自分の意思で選ぶことができ  
自分なりの役割を  
見出せる社会

例えば

- やりがいのある仕事を見出し、生き生きと働いている
- 複数の場で活躍する人が増え、社会の中に自分の役割がある
- 地域の多様性を活かしていろいろな場所で働ける
- 複数の仕事を組み合わせて生きる人が増える
- 場所や組織にとらわれない生き方が広がる

- 自分らしい働き方を追求する人、稼ぐことよりも好きなことを大切にすることが増えています。誰もがやりがいのある仕事を見出し、生き生きと働いています。好きなことを強みに自分なりの活動を展開する人が、社会に価値を生み出しています。
- ボランティア活動や地域活動など複数の場で活躍する人が増えています。誰もが社会の中に自分なりの役割を見出し、時間を使い分けながら、それぞれの場で誇りを持って活動しています。
- 社会のデジタル化に伴い、働き方の自由度が高まっています。仕事内容やライフスタイルに合わせて働く場所と時間を自由に選ぶ働き方が主流になり、地域の多様性を活かしていろいろな場所で働けること

が兵庫の強みになっています。働き方による不合理な待遇差もなく、仕事の生産性と生活の満足度が共に高まっています。

- 雇用が流動化し、終身雇用、年功序列のサラリーマン社会を生きる人は少なくなっています。組織に属さず、個人事業主として生きていく人が増え、人それぞれに複数の仕事を組み合わせて経済的な自立をめざす姿が広がっています。セーフティネットや職業訓練の仕組みも整い、安心して暮らせます。
- 仕事が住む場所を決める時代は終わり、人生のステージに応じて住む場所を変える暮らし方が広がっています。場所や組織にとらわれない自由な生き方が広がり、旅するように生きる人が増えています。

### 〈アクション例〉

- 活躍できる場をいくつも持ち、自分の幅を広げよう。
- テレワークをもっと普及させよう。働く時間と場所をできるだけ自由に各人が選べるようにしよう。
- 労働時間を減らし、もっといろいろな活動をしよう。
- 選択的週休3日制を導入しよう。1週間以上の長期休暇も取りやすくし、仕事以外のチャレンジを促そう。
- シェアオフィスやコワーキングスペースを増やし、様々な場所で仕事ができるようにしよう。

- どんな働き方を選んでも安心できる就業環境を作ろう。

#### 「人生100年時代」を先取りする

人の寿命は今後も伸び「人生100年時代」に近づきます。70代でも働く人が増える一方、手持ちのスキルで生きていくのが難しくなり、絶えざる学び直しが必要になります。教育⇒仕事⇒引退の3ステージの人生は崩れ、学びを繰り返す、仕事は複数の選択肢を持つことが大切になります。終身雇用モデルから脱却し、教育やキャリア形成のあり方を見直す必要があります。

めざす姿

I 自分らしく生きられる社会

②

居場所のある社会

みんなに  
人とつながれる居場所があり  
孤独を感じないで  
暮らせる社会

例えば

- 開かれた居場所が地域にあり、緩やかに人とつながれる
- 生活空間を共有し、つながりを感じながら暮らす
- 共通の趣味や関心で結ばれた多様なコミュニティが広がる
- 属性を超える活発な交流が地域を越えて広がる
- 多様な非営利組織が住民による自治の拠り所になる

- 自宅や職場、学校だけでなく、緩やかに人とつながれる開かれた居場所が身近にあります。気の向くままに訪れても誰かがいて、時には仲間と賑やかに、時には一人で静かに時間を過ごすことができます。
- 地域に様々な集い場があり、遠くの家族、友人ともオンラインで気軽に出会えます。生活空間を共有するライフスタイルが広がり、シェアハウスやグループホームでつながりを感じながら楽しく暮らす人が増えています。近くに身寄りのない单身者も、人とつながり、孤独を感じずに暮らしています。
- 共通の趣味や関心事、悩み事などで結ばれた多様なコミュニティが広がっています。コミュニティの活動が可視化され、人々はリアルに、あるいはバーチ

ャルにそれらの活動に関わり、居場所と役割を見出しています。地域をより良い場所にするための取組に多くの人々が参加しています。

- 属性を超えた活発な交流が地域を越えて広がっています。多様な人々との交流とそこから生まれる温かい人間関係が暮らしの質を高めています。
- 地域自治組織や、兵庫が先導的に進めてきた協働の取組の中で生まれたNPO、スポーツクラブなど多様な非営利組織が、人が集まり、それぞれの人がやりたいことをやる居場所になっています。それらが地域の課題に自主的に取り組む人々の開かれた拠点となり住民による自治の拠り所となっています。

### 〈アクション例〉

- 自宅や職場、学校以外のお気に入りの居場所と、気軽に話し合える仲間を持つ。
- 孤独を感じている人が気軽に悩みを相談できる場を作ろう。そうした活動をする人たちを応援しよう。
- シェアハウスで暮らしてみよう。共同生活のライフスタイルを叶える住まいを増やそう。
- 公民館などの施設をもっと使いこなそう。
- 自治会などの運営を見える化し、参加しやすくしよう。

- 住民が気軽に参加できる学びの場を増やそう。例えば地域で「サイエンスカフェ」をやってみよう。

#### 「社会的孤立」を防ぐために

家族や社会との関係が希薄で他者との接触がほとんどない「社会的孤立」が、高齢単身世帯の増加で今後増える可能性があります。社会的孤立は自殺、孤立死、犯罪、薬物依存、ゴミ屋敷など様々な社会問題につながることから対策が必要です。身近な居場所づくりや小さな地域単位の見守りのネットワークを築く必要があります。

めざす姿

I 自分らしく生きられる社会

③

世界へ広がる交流

五国の多彩な魅力が  
人をひきつけ  
国内外との双方向の交流が  
活発に行われる社会

例えば

- 五国の個性に磨きがかかり、国内外の人が兵庫を楽しんでいる
- 海外の企業や人材が生き生きと活動する
- 外国人県民と共に働き、学び、暮らす
- 兵庫の人材、企業が続々と海外に進出する
- 世界中を行き来する人が増え、世界との双方向の交流が深まる

- 摂津、播磨、但馬、丹波、淡路の五国の個性に磨きがかかり、子どもから大人まで、地域に対する誇りと愛着が強まっています。住民の誇りに支えられた景観や文物の魅力が地域に根差すストーリーと共に世界に発信され、国内外から多くの人が観光で兵庫を訪れ、五国を巡り、楽しんでいます。
- 海外の人材や企業を呼び込む地域になっています。留学生や実習生、県内企業で働く人、県内に拠点を置く外国企業で働く人など、海外から来る人々が増え、県内各地で生き生きと活動しています。
- 文化や宗教の違いを超えて外国人県民と共に働き、学び、暮らす社会になっています。外国人との交流

を通じて、世界の多様性に気付く県民が増えています。「ダイバーシティ」を理解し、実践する住民の力で地域社会が活気づいています。

- 多彩な知見や技術を持つ兵庫の人材、企業が続々と海外に進出しています。防災、医療、環境、農業などの得意分野で世界の課題解決に貢献しています。
- 世界の広さや面白さを伝える教育が行われ、子どもの頃から世界に目を向けるようになっていきます。ふるさとへの愛着を持ちながら、世界中を自由に行き来する人が増え、様々な国・地域と関係を持つ兵庫人が架け橋となり、国内はもちろんのこと世界中の地域と双方向の交流が深まっています。

### 〈アクション例〉

- 自分たちの地域の資源を掘り起こし、磨き上げ、つなぎ合わせて世界へ発信しよう。子どもたちに伝えよう。
- 地域ならではの美しい景観を作る活動を進めよう。緑化や無電柱化を進め、世界に誇れる街並みを作ろう。
- 外国人が安心して住み働ける環境を整えよう。病院、学校等の多言語対応、日本語教育・母語教育を進めよう
- 県内の高校や大学で留学生をもっと受け入れて、卒業後は兵庫・日本で活躍してもらえるように応援しよう。
- 海外で事業を展開してみよう。自分たちの強みを活かし

て世界の課題解決に貢献しよう。

- 海外留学に挑戦しよう。海外での生活経験を積み、世界中を自力で行き来できる大人になろう。

#### 活力を生む「ダイバーシティ」

社会の活力の源泉として「ダイバーシティ」への注目が集まっています。年齢、性別、国籍等の「多様性」という意味の言葉ですが、単に多様であるだけでなく、互いの違いを認め合い、受容することまで含めた言葉と捉える必要があります。異なる文化や価値観を持つ外国人と一緒に働き、暮らす「ダイバーシティ」に富んだ地域をつくる取組は、兵庫に新たな活力をもたらすでしょう。